

事務局だより

会員数（2025年3月1日現在）

湘南	県央	ベイサイド	多摩・田園	計
41	29	32	32	134名（Eグループ会員：119名）

退会1名 石川 武司氏（県央）

第34回通常総会&懇親会のお知らせ

今年も第34回通常総会を対面開催します！皆さんと顔を合わせて話せる貴重な機会です。総会後には懇親会も予定していますので、久しぶりに仲間と語り合いませんか？

- ◆ 開催日：5月25日（日）
- ◆ 会場：オルタナティブ生活館 オルタリアン
- ◆ 総会：13:00～14:30
- ◆ 懇親会：15:00～16:30（会費1,000円）

総会も懇親会も、地域を超えた交流の場です。ぜひご参加ください！



3月23日定例運営委員会より

要点は以下の通りです。（詳しくは議事録をご覧ください。）

1. 総会準備：議案書や案内状などの作成方針を確認し、開催当日までの準備を決定しました。
2. ジャオ多摩・田園の運営変更：2025年度から定例会を廃止し、他の地域同様、「世話人会」方式に移行します。これは高齢化による出席者減少を受けた対応で、世話人は活動リーダーや会計、希望者を含む8名で構成されます。

皆様のご意見やご協力をお待ちしています！

次回の運営委員会とHPサークル

運営委員会 日時：2025年5月25日（日）10:00～11:00 総会当日の進行打ち合わせ
議長：竹内委員

HPサークル 日時：2025年4月20日（日）15:30～17:00 オンライン開催 議長：竹内委員
※ HPサークルは4月以降、偶数月の第3日曜開催となります。

会員だより

男と女とコーラスグループ

湘南 新藤 正則

2012年2月に20名近いメンバーで発足した「じゃおグリークラブ」は、12歳も歳を取ると共にメンバーが徐々に減って来ました。メンバーを募集する為にチラシを作ったり、練習中の「見学自由」の紙を貼ったり。更に練習場所の「公民館まつり」に参加したりと、色々と努力はしていますが一向に反応がありません。

今までは11月に「横浜みなとみらい大ホール」で開催され開催されていたヴィサンに出演していましたが、練習地元の藤沢市民合唱連盟に加入して、「ふじさわ合唱祭」に参加しようかと色々と調べて見ました。

昨年に出演した成人グループ32団体の中で、25グループが女性合唱、5グループが混声合唱で男性合唱は2グループしかありません。そこでChatGPTにアマチュア合唱団の男女比を問い合わせたら次の様な答えが返って来ました。



- ・ 女性合唱：約 50～60%
- ・ 混声合唱：約 30～40% (内男性の割合は 20～30%)
- ・ 男性合唱：約 10%前後

ChatGPT は男性が少ない理由を次のように述べています。

- ・ 学校の音楽教育でも女性の方が積極的で、成人してからも「おかあさんコーラス」や PTA を通じて合唱グループ活動に参加する人が多い
- ・ 女性は、グループ活動を通じて「共感し合う」ことを目的とした食事・観光・旅行等が適していて、子育てや家庭生活が一段落した後の女性が時間を割けるようになったことが多い
- ・ 女性は、グループとしての経験を通じて、費用対効果以上に楽しむことを出来る
- ・ 男性は、定年後も職場時代の仲間とゴルフとか、釣り・囲碁・将棋・登山等の個人で楽しめるものを選ぶことが多い
- ・ 男性は、仕事や社会的役割に時間を割くことが多く、趣味としての音楽活動に割ける時間が少なかった
- ・ 男性は、「家を空ける理由」を求められると感じて、会食や旅行を計画しにくい傾向がある
- ・ 男性は、「気を遣うのが面倒」と感じることもあり、参加をためらうことがある

観光地に向かう電車の中は圧倒的に女性グループで男性グループは余り見かけません。チョットと高そうな昼間のレストランも殆どが女性客。夜の安い居酒屋（高い所は知りません）は若い人達と外国人。我が「じゃおクラブ」は数少ない男性グループです。色々な活動に参加して夜の居酒屋も楽しみましょう！

わがカラオケ人生

県央 鈴木 富男

最近、カラオケを大いに楽しんでいる。これも最初のきっかけはやはりじゃおクラブでの忘年会で、コロナが流行する前だったので、海老名のカラオケ店で、順番にカラオケで歌いながら、酒と食事を楽しんだ。当時は私のレパートリーはせいぜい 1、2 曲しかなかったもので、もう少し歌える歌を増やさなくてはと思い知らされた。

そう思っている矢先に、南林間駅のカルチャーセンターで、「歌の旅」という講座が開設され、早速申し込んでみた。この講座は、かつて作詞家だったりゆうたかし先生が講師で、月 2 回、2 週間ごとに先生が最近発売された曲を選んで課題曲としてレッスンするもので、一通りのレッスン終了後、受講生一人一人がその歌を歌って習熟度を確認する。この講座の特徴は「歌の旅」と題するとおり、毎回課題曲が変わり、メロディーに対してばかりでなく、歌詞の意味について説明があり、また、随時質問を受け付けてくれる。

毎回、その日の課題曲を受講生一人一人が歌い終わると、次回の課題曲の CD をかけてくれて、CD の中にあるメロ譜と呼ばれる音符とその下に一番の歌詞が書いてある譜面が配られる。ただ、このメロ譜の一番の歌詞の下に二番、三番の歌詞を書き加える割譜を作成しようにするには、メロ譜の一番の下に余り余白がない。そこで私はそのメロ譜は大体 B4 版なので、それを A3 版に拡大コピーして、音符と一番の歌詞の部分を切り取って、それを A3 の紙に一番の歌詞の下に余白が生じるように貼り付ける。この余白の部分に二番、三番の歌詞を書き加えて割譜が完成する。こうした割符づくりは一気にやるには優に半日はかかる。他の受講生はこうした作業をやらないのか、時々、二番の部分を一番の所と間違っ

て歌ってしまう。私は割譜のおかげでそうした間違いはないのだが、折角習った歌を発表する場がなく淋しかった。

こうした思いに応える機会が訪れた。それは大和市主催の「やまとでカラオケ」だ。舞台はシリウスのメインホール、このホールは大和市内では一番大きなホールで、かつて「新 BS 日本のうた」の収録で、五木ひろしなど一流の歌手が歌った舞台で、しかも司会は「BS やまと」の女性アナウンサーといった最高の環境だ。大和市民であれば 1 曲千円を払えば誰でも時間が許す限り何曲でも歌える。高音でホール全体に響きわたる声の持ち主、全て英語で歌う人、ダンス衣装でプロ顔負けの踊りを披露する人など様々だ。では私とは言う、これといった特徴はないのだが、「歌の旅」で習った毎回違う歌を歌うので、聴衆は余り聴いたことのない歌をポカンと聴いている。司会者もコメントのしようがないので、残念ながら感想を聞くことはなかった。こうした楽しい思い出一杯の催しも、出席者が毎回 20、30 人では税金の無駄遣いと批判があったのか(?)、残念ながら一昨年で最後となってしまった。

カラオケは、楽器を弾くのと違って、特別の練習をしなくても誰でも歌うことができる。もちろんうまい下手はあるのだが、プロになろう、のど自慢に出ようとするのではなく、楽しむことができる。私も、高音は出ないし、休符や間のとり方が下手くそだが、声が出る限り今後も楽しんでいこうと思っている。



じゃお湘南

農園日記—3月の農作業

3月15日(土)じゃお農園は春色に満ち溢れていました。

久しぶりに降った雨は農地を潤し、ほうれん草、タマネギ、葱、ワケギ、ニンニクなどは生き返ったように元気になりました。今日の参加者は20名と多く、1号畑と2号畑に分かれて作業をしました。



1号畑の作業は風で飛ばされたマルチの修復、肥料入れと耕運機による耕運、坊主知らず葱の土寄せ、収穫は、ほうれん草、一本葱、ブロッコリーの脇芽採り、芽キャベツでした。ほうれん草は大小様々でしたが寒気と乾燥に耐え遅しく育ち、ブロッコリーは脇芽と言ってもその巨大な成長ぶりは壮観でした。たくさんの作物を持ち帰りましたが、いずれも新鮮で柔らかくとても旨かったです。

2号畑の主な作業は農地の整備でした。畑の周囲に黒い布製のシートを敷き、かつ隣接する果樹農家との境には雨水の水路をつくりました。布製のシートを敷いたのは、作業車両の通路を作るためと、雑草防止だけでなく隣接する酪農業者への土壌流出防止の配慮からでした。農地には耕運機による耕運も行いました。



折りから2号畑の奥には多数の蔕の臺が自生していました。100個以上収穫しました。こんな体験が出来るのもじゃお農園だからこそです。

畝作り鋤で寄せたる春の土 忠男
蔕の臺 妻の喜ぶ顔見たし 忠男

(湘南 島村 忠男 記・写真)

湘南活動報告－こどたん+（プラス）2025－に参加して

令和7年3月9日（日）茅ヶ崎市民活動サポートセンターで「こどたん+（プラス）2025」が開催されました。この催しは「ともにつくる」を合言葉の体験型交流イベントで、活動・体験を通して地域の活性化を図ることを目的としたものです。その催しに賛同したじゃお湘南の有志8人は、ボランティア活動の一環として参加しました。

この活動は私にとって2回目となります。当日は晴天に恵まれ大勢のお子様連れで賑わい、成功裡に終わる事ができました。開催日に向けては有志全員で準備を進め、当日は念のためイベント（万華鏡とCDコマの作成）の注意点等を教わり、再度復習して本番に臨みました。

幸いな事に当日は天気もよく絶好のイベント日和となりました。残念だったのは、我々のイベントは室内であったため屋外ほど盛況とはなりませんでしたが、それでも多くの子供達と接することが出来、独り暮らしの私にとって、この瞬間はとても楽しいひと時となりました。



工作を教えるなかで特に驚かされたことは、子供達の集中力が予想以上にあったことでした。また、



出来上がったばかりの完成品を手にして、覗いてみたり回してみたりする瞬間の子供達の反応と豊かな表情に、嬉しかったり楽しかったりで私にとっても貴重な体験でした。

悔やまれるのは、イベントでの売り上げが当初予定した目標数に達しなかったこと。結果 771 円の赤字になってしまった事でした。次回は今回の問題点を改善し、黒字（100 個売り上げ）を目指して頑張ろうと思っています。次回も参加させていただくのを楽しみにしております。

（湘南 太地 秀晴 記・茅ヶ崎市民活動サポートセンター 古岡 實 写真）

じゃお県央

2025年3月定例そば打ち開催報告

日 時：2025年3月17日（月）9時30分～13時30分

場 所：海老名国分コミセン 多目的室

2025年じゃお県央定例そば打ちを3月17日に開催しました。

今回は多摩・田園の浅野俊行さんの指導のもとそば打ちを行いました。県央地区のそば打ちは、指導者がリタイヤして居ない中、自己流で打っていましたが上達しない為、浅野さんをお願いして引き受けて頂きました。

浅野さんが作ってくれた資料で説明後、実演しての説明も行い全員見入っていました。説明・実演後は、各自教わった通りに7割そば300gを工程通りに行った。特に捏ねの工程では、水の量と捏ねの回数で旨いそばになるかが決まるそうです。延ばしの工程では、のし棒の使い方・四つ出し・幅だしのやり方を教わりながら打った。



蕎麦打ちの出来栄えは、切り幅に太細の差があったが試食では美味しく感じた。浅野様ご指導ありがとうございました。



参加者：鈴木（寿）・坂井・大場・加藤・山口・福山 計6名

指導員：浅野様（多摩・田園）

次 回：2025年5月19日（月）9：30～13：00

（県央 福山 信二・記 大場 幸雄・写真）

話題その4 2023年前期朝ドラ「らんまん」のモデル牧野富太郎の出身地はどこ？

商品名 マキノジン

🍷 産地 日本 高知県 🍷 酒 スピリッツ (ジン) 🍷 蔵元 司牡丹酒造
朝ドラのモデルとなった牧野富太郎博士が妻の名から命名した「スエコザサ」や高知県産のグアバ、ブッシュukan、ショウガ等をキーボタニカルに使用。蒸留器の設置場所は博士の生家の跡地。IWSC2024で銀賞受賞

おつまみ

1. 桜のアフィネ (共働学舎新得農場：北海道)
酵母に覆われたチーズ「さくら」を更に熟成。深みのあるコクとなめらかな舌触り。
World Cheese Awards 2021 金賞受賞
2. 溶岩窯食パン (Komu's Bakery：最寄り駅 センター北)
富士山の溶岩石でできた窯で焼き上げたもちりしっとりとしたパン。
3. 自家製コンビーフ (千駄木腰塚 横浜精肉店：横浜ジョイナス ISETAN 内)
職人の手で丁寧にほぐされた肉の繊維と旨みが特長。
4. カレ・ド・ショコラ (フレンチミルク)：森永

ワインとジンとおつまみを頂き、辻ソムリエとの会話がはずむ2時間でした。次回はどんなテーマが楽しみです。

(ベイスайд 真島 記・大澤 写真)

大山街道を歩く<田村道> (その2)

3月22日(土)、大山道を歩く<田村道> (その2)を実施しました。当日は晴天に恵まれ、気温も23℃まで上がり、絶好のウォーキング日和でした。

さて、大山街道を歩くシリーズ、田村道は辻堂北を通る旧東海道(国道1号線)四谷辻から分岐、伊勢原に至る旧道です。江戸時代は大山詣でをした後、江ノ島の弁財天、鎌倉、金沢八景などの景勝地を巡る観光ルートとして多くの旅人で賑わったそうです。



ベイスайдウォーキングは江戸時代の大山詣でに倣い、伊勢原から田村道をたどり、江ノ島への中継点である藤沢を目指すこととし、今回は2023年11月に実施の「伊勢原～寒川」に続く後半で、寒川神社から箱根駅伝で有名な藤沢遊行寺までを歩きました。

相模線「宮山駅」(10:00 出発) → 寒川神社 → 景観寺横で田村道に合流(県道45号線) → 小出川大曲橋 → 新湘南バイパス高架下を東進、バイパスを横切る → 高田地区に入る。

この辺りから、古い村の中心地らしき雰囲気が残り、熊野高田神社、本在寺、赤羽根六地藏、神明大

神鳥居、長屋門のある旧家、妙行寺、旧松林村役場跡などが続き、旧道歩きが楽しめました。神明大神の境内で昼食、暑いためビールを“二缶”も空けた御仁もあり一時間と長めの休憩をとらざるを得ませんでした。

英気を養ったあと、辻堂北にある東海道（現国道1号線）との分岐点四谷辻に向かう。四谷辻には大山前不動（不動尊坐像の載った道標「是より大山みち」と彫られていた）と大山神社一の鳥居が立つ。

四谷辻からは旧東海道（現県道44号）に入り、遊行寺に向かう。道幅も広く旧東海道の面影はない。かろうじて途中、羽鳥道祖神、藤沢本町駅近くに京見附跡があり、旧東海道とわかる。白旗神社入口交差点をすぎ、遊行寺の少し手前に「紙」と書かれた古い商家が残っていました。藤沢市に現存する唯一の店蔵で、茶・紙問屋を営んでいた桔梗屋という旧家だとのこと、宿場町の雰囲気伝える貴重な建物でした。旧東海道は、桔梗屋を過ぎて現在の藤沢橋の手前を左に折れ境川の橋を渡ります。突き当たりが今回の目的地、遊行寺でした。

総歩数 23,000 歩(約 16km)、6 時間弱の行程でしたが、参加の後期高齢者 7 名、無事歩き終わりました。！！じゃおの後期高齢者は元気です！！

(ベイスайд 諏訪 記・写真)

じゃお多摩・田園

藤沢で味わうオーケストラの響きと余韻—クラシック・コンサート鑑賞会

3月16日(日)、多摩・田園のクラシック・コンサート鑑賞会では、藤沢市民会館大ホールで開催された「戸塚区民オーケストラ」の第36回定期演奏会へ行ってきました。

戸塚区民オーケストラは1981年春、「戸塚区にオーケストラの響きを」を合言葉に設立され、40年以上の歴史を持つ楽団です。年2回の定期公演のほか、室内楽発表会やクリスマスコンサート、訪問演奏など、多彩な演奏活動を続けています。

当日のプログラムは、シベリウスの交響詩「春の歌」、ドビュッシーの「小組曲」、そしてチャイコフスキーの交響曲第5番ホ短調でした。指揮は常任指揮者の井崎正浩氏、情熱豊かな演奏を引き出す方でした。特に力強い金管セクションが印象に残りました。

今回は9名の参加でしたが、藤沢での開催とあって湘南からも参加がありました。終了後は、藤沢駅前の居酒屋で地域を超えての懇親を行いました。演奏の感想や近況報告など、話題は尽きず、楽しいひとときを過ごすことができました。

クラシック・コンサート鑑賞会は不定期の開催で、アマチュア・オーケストラの演奏を楽しんでいます。メールやサークルスクエアでご案内しますので、皆様のご参加をお待ちしています。音楽を通じて、心豊かな時間を過ごしましょう。



(多摩・田園 竹内 純一 記・写真)

“顔を合わせる”ことの大切さ——多摩・田園懇親会

多摩・田園では、これまで年2回、暑気払いと新年会を開催してきました。2025年の新年会は1月の予定でしたが、今年は会場の都合により、3月の総会後に懇親会を開くことになりました。

懇親会は“大人の修学旅行なのかも”！

会場は、小田急町田駅からすぐの「月亭町田店」。同じ建物内にあるホテル町田ヴィラの宴会場を貸し切り、他のお客様を気にせず、存分に楽しめる環境でした。飲み放題付きの2時間は、あっという間に過ぎ、賑やかで楽しい時間となりました。参加者は多摩・田園から7名、県央から1名、そしてベイサイドからじゃおクラブ代表の大澤さんも加わりました。世界情勢や日本の政治から、鉄道の話、家電の使い方や修理まで、地球規模から我が家までの幅広い話題で盛り上がりました。宴会が進むにつれて、ビール、ハイボール、日本酒、ワインなどが、どんどん空になりました。



残念ながら、近頃は参加者の減少が続いています。多摩・田園の会員は32名いますが、仕事を続けている方や体調を崩されている方も多く、なかなか全員が集まるのは難しい状況です。本来、懇親会は顔を合わせる機会の少ない仲間が、活動や行事を超えて一堂に会し、交流を深める場ですが参加者の減少が課題となっています。

乾杯、そしてハッピーバースデー！

今回の懇親会では、最後に多摩・田園の古株である石井さんにご挨拶をお願いしました。すると、偶然にもこの日が石井さんのお誕生日だそう。全員でハッピーバースデーの合唱をし、温かい雰囲気のうちにお開きとなりました。なにしろ、参加者の中にグリークラブのメンバーが3人いましたからね。

高齢化を克服する運営、世話人会

2025年度より、多摩・田園では定例会を見直し、毎月開催していたものを偶数月に世話人会として実施することになりました。南多摩発足以来続けてきた定例会ですが、高齢化が進むにつれ、参加者が限定されてきました。そこで、活動リーダーを中心とした新しい形に移行します。来年も3月の総会後に懇親会を開催する予定です。より多くの方々の参加を期待しています。

たまには“本気の宴会”を！

終了後に、反省会と称して少人数の飲み会を開く活動も多いですが、全体での集まりには消極的な傾向があるようです。「じゃおクラブ」は地域を超えて、どの行事にでも参加できるのが特徴。個々のイベントだけでなく、多くの会員が顔を合わせる場にもご参加いただければと願っています。

(多摩・田園 浅野 俊行 記・竹内 純一 写真)